



♪ 鹿児島県国際交流協会からのお知らせ ♪

災害時外国人支援 ボランティア養成講座



災害時、外国人が本当に必要としている
情報を知っていますか？
実際の災害で提供される情報を的確に伝えられる
実践的なスキルを身につけましょう。

オンライン版

12.24 (sun) 13:30~16:40

定員：英語 6名・中国語 2名・ベトナム語 2名
(各言語先着順)

参加費：無料

※申込後に zoom の ID をお送りいたします。

12/9(土)対面版は定員に達しました。

※講座内容や申込方法などの詳細は
こちらからご確認ください→



鹿児島で世界を語ろう！第29回外国人による 日本語スピーチコンテスト 観覧者募集！

2024.2.3 (sat) 13:30~16:30

@県民交流センター 県民ホール



※観覧の方のお申込は不要です。
当日直接会場にお越しください。

会場はこちら→



♪ 当日の運営ボランティアも大募集

- イベント進行の補助、来場者の受付・誘導、カメラ撮影、後片付けなど。(外国語は必要なし)
- ◆2/3(土)10:30~17:30 (事前説明含む。昼食付き)
- ◆募集人数 14名 (先着順) [高校生以上]
- ※18歳未満の方は保護者の同意書が必要です。
- ◆昼食・交通費 2,000円支給

詳しくは下記までお問合せください。

【問合せ】TEL:099-221-6620

Email: kia7@kiaweb.or.jp

申込 QR コード



協会ホームページでは色々なイベントをお知らせしています。
ぜひご覧ください♪

鹿児島県国際交流協会

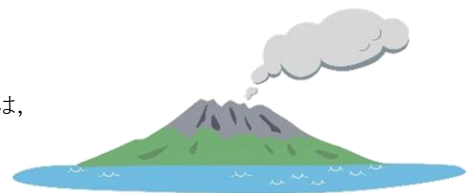


【各種問合せ先】公益財団法人鹿児島県国際交流協会 099-221-6620



「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。『国際交流ひろば』では、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介しています。今回は、県内在住で香港ご出身の劉靖殷（らうちんやん）さんをご紹介します。



ジェニーさんについて教えてください。

私は香港の九龍（クローン）半島側の屯門（とんむん）という郊外地域で、一人っ子として育ちました。両親も香港出身で、家では広東語、学校や友達とは中国語と英語を使っていました。

私の名前は漢字では劉靖殷（らうちんやん）と言いますが、小さい頃に両親がつけてくれたジェニーという愛称で呼ばれています。香港では苗字が同じ人が多いので、英語の愛称を持っている人が多いです。



ジェニーさん（中央）と香港のご両親

とても自然な日本語を話しますね！

日本語を学んだきっかけを教えてください。

私のお父さんが日本の歌手の沢田研二（ジュリー）の大ファンで、私も小さい頃から彼の歌をよく家で聴いていました。そのことが自然に日本語を勉強したいと思うようになったきっかけかもしれません。日本のアニメ「ドラえもん」や「鉄腕アトム」もよく見ました。

卒業したあと、ニュージーランドでワーキングホリデーをしていた時に、日本人の友達がたくさんきて、その後、香港に戻ってから、日本語学校に通い、本格的に日本語を学びました。

香港でもドラえもんを見るのですね。

香港では、昔はドラえもんは「叮嚀（ディンドン）」と呼ばれていて、今でもとても人気がありますよ。ただ、香港のドラえもんはおじさんの声なんです。日本に来て初めてドラえもんを見たときは、声がかわいくてびっくりしました！

鹿児島に来ることになったきっかけは？

人と接することが好きだったので、香港の国際空港で日本の航空会社と契約して働いていました。その後、日本に住んでみたいと思うようになった時に、「白水館」の求人情報がSNSに広東語でアップされているのを目にして、応募しました。採用面接で指宿まで来ましたが、とても広くきれいな庭や温泉が印象的で、日本を感じさせてくれました。その時の接客もとても丁寧で安心感を与えてくれました。



香港ビクトリアハーバー

普段はどのような仕事をしていますか？

現在はフロントで働いています。海外からの個人でのお客も多く、私は広東語・中国語・英語で対応します。日本語が話せないお客様のために、ホテルの外のレストランの予約などもお手伝いをしています。

香港からのお客様は、砂蒸し風呂を目当てに来られる方が多いです。そのほか、おすすめ観光スポットとしては、長崎鼻や池田湖をご案内しています。指宿はバスや電車の本数が少ないので、自分でレンタカーを借りて県内を回る方もいますね。

日本で働いて香港との違いを感じることはありますか？

香港人の仕事の進め方は、基本的にスピード重視です。いつも早口で、歩くのも速いですよ（笑）。私も、香港での感覚が残っているところもあり、日本の対応がちよっと遅く感じることもあります。それが日本人の丁寧さだと最近わかってきました。

また、日本では、朝礼や打ち合わせが定期的にあって、みんなで情報を共有できるし、チーム感が出るのでとても良いと思います。

白水館は外国人の従業員も多く、上司や同僚の理解もあり、病気になったら車で病院に連れて行ってくれたり、休みの日はみんなでバーベキューや花火をしたり、とても働きやすい職場です。

仕事で苦勞した事・逆に嬉しかった事はどんなところですか？

鹿児島で働き始めて、初めは言葉の壁が大きかったです。敬語や、鹿児島弁が理解できなくて苦勞をしました。でも、フロントでの接客中に、日本人の方からは香港出身というところから会話が広がったり、「頑張ってくださいね!」という言葉が嬉しく、励まされています。また、海外のお客様からは、「ジェニーさんがいてよかった」といってもらえるのが、とてもありがたいです。ただ、香港では社交辞令はあまり使わないので、曖昧な日本語も難しく、例えば「今度いきますね」と言われると、本当に来るのかどうかかわからず、そこは今も苦勞しています。



チェックイン業務

「頑張ってくださいね!」という言葉が嬉しく、励まされています。また、海外のお客様からは、「ジェニーさんがいてよかった」といってもらえるのが、とてもありがたいです。ただ、香港では社交辞令はあまり使わないので、曖昧な日本語も難しく、例えば「今度いきますね」と言われると、本当に来るのかどうかかわからず、そこは今も苦勞しています。

食生活はどのようなですか？

日本料理の中ではお寿司やお刺身が好きです。香港と違って、新鮮で価格も手頃です。ただ、時々、日本料理以外の色々な国の料理を食べたくりますね。香港ではどこでも、中華料理はもちろん、インド料理やタイ料理など、たくさんの国々のごちそうを食べられます。

香港独自の食ということでは、飲茶でしょうか。香港のお年寄りの人たちは広い飲茶レストランで、朝から好みの点心を食べてお茶を飲み、新聞を読みながらゆっくりと過ごしていますよ。もともと、若い人たちは時間がなくて、そんなことできませんけどね（笑）。点心には鶏の足（爪先）のところを蒸して味付けした「鶏のもみじ」という料理もあります。コーゲンたっぷりでおいしいですよ。



名物飲茶料理

今後チャレンジしたいことを教えてください。

日本に住んでみようという外国人がスムーズに手続きできるよう、サポートしてあげたいです。例えば、私も経験しましたが、日本では日本の電話番号を持っていないとクレジットカードが作れない、一方で、クレジットカードがないと電話の契約ができないなど、とても困ってしまうことがよくあります。ほかに、日本で暮らす上で、理解しにくいことはたくさんありますよ。漢字がわかる外国人はまだいいけれど、わからない外国人もたくさんいます。そんな不安な外国人が少しでも減ってほしいですね。

日本の若い人達に海外を知ってもらうにはどうしたらよいですか？

日本は国内旅行だけでも色々な文化や風俗、食べ物などを体験できますよね。それは日本のいいところでもあるのですが、逆に、日本の若者が海外に行かない理由になっているかもしれません。香港は、旅行といえば海外に出ていくことを意味します。

あと、日本人は英語に不安を持っている人も多いと思いますが、台湾など英語が通じなくても行ける海外もあるので、一度は行ってみたいかと思っています。海外の人は日本人に対してはとても良いイメージを持っているので、どこに行っても困ったときは助けてくれると思います。ぜひ、チャレンジしてほしいですね！



豊かな自然に囲まれた、指宿特有の「砂おし温泉」に入り、併設の薩摩伝承館で薩摩の歴史や文化を五感で感じ、日常を忘れて至福の時間を過ごしてみたいかをご紹介します。

〔鹿児島砂おし温泉「指宿白水館」〕

指宿市東方 12126-12 Tel:0993-22-3131

〔薩摩伝承館〕

指宿市東方 12131-4 Tel:0993-23-0211

白水館 HP 伝承館 HP



「かごしまから見える世界」 Vol.18

かつてから外国との交流が盛んだった鹿児島。鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所をご紹介します。今回は、指宿市で活躍した浜崎太平洋の業績と、指宿の憩いの場であるオーストラリアの森をご紹介します。

「日本人初の国際貿易家 浜崎太平洋」

「指宿温泉の開発者」

鹿児島県の指宿と言えば、古くは「湯豊宿(ゆぶしゆく)」の字を充てられたほど至る所でこんこんと地中からお湯が湧き出る地域であるが、この薩摩半島南部地域がこれほどの日本有数の温泉地となるにはある人物の貢献があった。湊太左衛門(みなと たざえもん)。一七世紀半ばに指宿に移り住んだご先祖が海運業を始め、太左衛門は五世にあたる。代々海運業を継承して、その稼業を伸ばしていくが、太左衛門は単なる商人ではなく、指宿の地に藩主島津齊宣(なりのお)をもてなす「御座間」と称する。迎賓室を新築して、指宿の温泉を活用したおもてなしの礎を築いた。さらに、私財を投じて温泉鎮護の神を祀る「湯権現神社」を創建するなど、「指宿温泉開発の恩人」(指宿市誌)とされている。

ところで、この稿は「かごしまの温泉」記事ではなく、鹿児島に居ながらにして世界を見ることができるといえる史跡などを紹介するものである。実は、この太左衛門の三代後の子孫「第八代濱崎太平洋(注:漢字表記は銅像の刻字に拠る。以下「太平洋」と記述)」が、今回の主役として、世界を見据えた活躍をした人物である。

「南海へ少年の躍動」

太平洋は一八一四年の夏に生まれるが、先代の時代に家運は傾いており、太平洋の子供時代には家に食べるものもなく、他所の畑の芋を拾って食べるような暮らしぶりであったという。苦しい生活ながら厳格で凛然とした母に育てられた太平洋は、十四歳の時、琉球へ渡り海の男になろうと決意する。「ヤマキ」の屋号を持つ浜崎家の再建を目指して、ここから太平洋の南方貿易開拓の格闘が始まる。



第8代濱崎太平洋の墓

「調所(ずしよ)広郷との出会い」

ところで、当時の日本は徳川幕藩体制で、各藩は定期的に参勤交代の義務を負っていた。薩摩藩は雄藩としての家格や江戸からの遠隔地であることから、参勤交代には莫大な経費を要していた。また、第二十五代藩主島津重豪(しげひで)の奢侈や木曾川治水工事の経費などが藩財政を強く圧迫し、一八三〇年頃、藩は五百万両という巨大な借財を抱えていた。その対策を担うために登用されたのが調所広郷で、この人物との出会いが太平洋の人生を大きく変えていく。

調所は財政窮乏を救うため、奄美の黒砂糖生産に目を付け、この特産品を藩の専売とし、その輸送のために太平洋ら

何人かの海運業者を藩の公認業者とした。これにより、太平洋からは藩からの輸送料収入を得ることになる。

また、当時、幕府は鎖国政策のもと、中国、オランダ以外の来航を禁じ、海外貿易も禁じていたが、薩摩藩は琉球を支配し、そこを仲介役として中国、英国、フランスなどの産物を手に入れる実質的な貿易を行うことができた。この海外貿易に太平洋らを加担させるとともに、太平洋から自らの海外産物購入も藩は黙認することとなり、多大な利益を得ていくことになる。輸入品としては、絹布類、氷砂糖、薬品としての人参、オニコロ、琥珀等で、見返りの品は蝦夷方面からの干し鮑、いりこ、にしん、昆布などであった。

「海運ネットワーク」

海運、貿易で躍進した太平洋は、箱館、大坂、長崎、琉球などに支店網を広げるとともに、箱館の高田屋嘉兵衛、加賀の銭屋五兵衛の豪商家と繋がり、巨大な海運・商流ネットワークを拡げていく。情報網も張り巡らし、自らも上海に渡航し、海外の実情を肌で感じるとともに、長崎でグラバーと会ってアメリカでの綿相場の動きを聞き出し、跡継ぎの子が後の取引において莫大な利益を得るなどしている。太平洋こそ、当時において国際的な視野と行動力を持った「日本人初の国際貿易家」と言われる由縁だ。

さらに、太平洋が藩に献じた献金や、ミニエール銃の購入、主力艦春日丸の購入への資金提供などが薩摩藩の「国力」を充実させ、後の明治維新に繋がっていくことを考えると、近代日本の成立の最大の功労者は、浜崎太平洋ではないかという気もしてくる。

「海上王の像」

指宿港の一角に太平洋公園という名称が付けられた場所があり、海端に沿って一段高く盛土されていく芝生帯がある。そこに高さ4mの台座が据えられ、その上に3mの第八代濱崎太平洋のブロンズ像が立っている。「ヤマキ」の屋号をつけた台座の上に凛として立つ太平洋は右手を指宿の街に向け、



指宿港の太平洋ブロンズ像

故郷への思いを伝えているようだ。芝生帯は椰子の木を帆柱に見立てた船を模しており、その船先は、太平洋躍進のきっかけとなった琉球、そして中国、アジアの地に向かっていく。容姿が殆ど伝わっていない太平洋像の製作は何回もの試



椰子の木の帆柱と南向きの船先

作を経てようやく完成したものだそう。この像がある限り、日本の海外貿易の先駆けとなり、明治維新を経て近代日本の成立に欠くべからざる貢献を成した太平洋翁の偉業が、今後とも正しく評価されていくことを切に願うばかりである。

＊本稿の執筆においては、太平洋顕彰ヤマキの会長及び事務局長にお話を伺うとともに、多数の関連資料をいただきました。お礼を申し上げます。

「オーストラリアの森」

指宿市はオーストラリア連邦クイーンズランド州ロックハンプトン市と姉妹盟約を結んでおり、友好を記念して市営陸上競技場近くに「オーストラリアの森」が整備されている。造成時、オーストラリアから送られてきた約千五百本の樹木が植栽され、現在は大きく育つて、名のとおり森を成している。地元ではあまり見かけない木々の間を散策すると、まさに外国の森を歩いている気分になる。園内には遊具も整備されており、「オペラハウス」の形をした滑り台では子供たちが元気に遊んでいた。



オーストラリアの森の樹木



ベルモント レッドの像

トン市から贈られた赤い牛「ベルモント レッド」の像が長閑な顔で立っている。この牛は同市の気候に合うように遺伝学的に育成され、今やオーストラリア牛の象徴となっているそうだ。牛が見つめる先の道は「ロックハンプトン通り」と名付けられている。なお、ロックハンプトン市には、指宿市からの寄贈で日本庭園が整備され、砂むし温泉に憩う乙女像が設置されているそうだ。



ロックハンプトン市の日本庭園



世界あちこち便り

1「台湾の自然」

中華民国(台湾)の玉山(ユイシャン)は東アジアの最高峰です。領土は台湾 本島、澎湖(ポンフー) 諸島、金門、馬祖、そして多数の島嶼からなっています。国土の約20%は自然保護エリアとなっていて、台湾本島は、3,000メートル以上の山々が連なり、森林に覆われた山地が全面積の半分以上を占め、豊かな自然に恵まれています。また、台湾本島は熱帯から温帯までの幅広い気候帯に肥沃な土壌と豊富な降水量が加わり農業天国を形成し、あらゆる種類の果物や野菜が栽培されています。



2「国民」

台湾には公式に認められた 16 の先住民族がいます。台湾は「新住民」と呼ばれる、主に中国や東南アジアなど海外出身の配偶者 57 万人のふるさととなっています。台湾には多様な漢民族のサブグループだけでなく、マレー・ポリネシア系の先住民族と世界各地からの移住者によって多文化社会が形成されています。

3「日台関係50年」

50年前の1972年9月、日本は中国大陆を統治する中華人民共和国と国交を樹立し、台湾を統治する中華民国との国交を断絶しました。それから50年、日台関係は大きく発展しました。国交がない日台関係はかつてなく良好な状況にあると言えます。

断交後の1970年代、80年代は冷めた状態が続いていましたが、1990年代に台湾が民主化したこと、日中関係が複雑化したことで、日台関係は転機を迎え、そして2010年代に大きく発展し、相互の好感度が高い現在の状態に至っています。

日本と台湾は地理的に地震多発地帯に位置し、歴史的に何回もの大地震を経験してきました。1999年9月21日、台湾中部を震源とする大地震が発生しました。その時、「日本からの救援隊が台北に到着し搜索活動を開始した」というニュースがラジオで繰り返し伝えられ、それは台湾の人々にとっても気持ちを前向きにするメッセージとなりました。地震の発生が深夜の1時47分、その日の夕方には日本の国際緊急援助隊が到着し、台北で搜索活動を開始するという非常に迅速な行動は台湾の人々を驚かせ、深い印象を与えました。

2011年3月11日、東北沖を震源とする東日本大震災が発生しました。その被害の映像は台湾でも強い衝撃を与え、台湾各地で多くの人が日本を心配し、義援金を寄付しました。「台湾大地震の際の日本の支援にお返しを

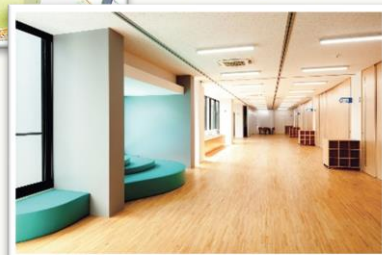
したい」という声があちらこちらであがりました。台湾からは、義援金だけではなく大量の支援物資も届けられました。そして、いくつもの台湾の支援団体が被災地に入り、息の長い復興支援を行いました。

2019年の日本から台湾への旅行者は217万人、台湾から日本への旅行者は489万人に達しました。台湾にとっても日本人旅行者は中国人旅行者に次ぐ数で、存在感は大きいです。

4「つながる学校」

～子どもたちが楽しんで通う台北日本人学校～

このような国際情勢と環境の中に位置する台北日本人学校は、2022年3月に新校舎が開校しました。コンセプトは、「つながる学校」です。このコンセプト実現に向けて、私たちは6つの「つながる」を具体的に取組んでいます。○国際理解やメディアを活用して「様々な学びにつながる」○様々なコミュニケーションが生まれることで「人と人がつながる」○様々な空間から「多様な活動につながる」○災害に強く、防犯体制が高い校舎が「安全・安心につながる」○外国語活動での学びや日本の文化の発信を通して「世界につながる」○私たちの夢や希望の実現に向けて「未来につながる」



大前 鉄治 (おおまえ てつじ) 台湾台北市在住



台北日本人学校小学部 教頭 シニア派遣
前 薩摩川内市立高来小学校 教頭

台湾文化交流会 in 鹿児島

鹿児島市

◆台湾文化交流会とはどのような団体ですか？

台湾文化交流会 in 鹿児島は、鹿児島在住の台湾人と台湾に興味がある鹿児島の方々をつなぐための会です。鹿児島の人に台湾のことをもっと知ってもらいたいという思いからこの会を立ち上げました。2019年設立当初は、2人だけでイベントの企画・運営をしていましたが、その後鹿児島在住の台湾人や台湾に興味がある日本人も会に参加して徐々に会員が増えました。2021年には役員会を設け、幅広く活動できるようになりました。



おはら祭りに参加

◆どんな活動をしていますか？また、県民の方はどのように関わることができますか？

台湾料理・文化講座、台湾華語教室、絵本の読み聞かせなど台湾に関連したイベントを開催しています。各国際関連の団体との交流、提携によって鹿児島の各地に国際理解講座やイベントのお手伝いもしております。最近では、おはら祭の総踊りにも初参加しました。台湾にゆかりのある方、台湾好きな方々と一緒に台湾連として楽しむ事が出来ました。SNSでも情報を発信しているので、多くの方に台湾に興味をもってもらえたら嬉しいです。



台湾文化講座

◆県民の方へメッセージをお願いします。

台湾文化交流会を通して台湾人が知らない鹿児島の事、私たちが鹿児島の人に知ってほしい台湾の事など一緒に学んでいけたらと思います。

台湾文化交流会 in 鹿児島事務局
tw.culture.k@gmail.com

詳細は
こちら
から→



かごしまの 国際交流団体紹介



始良市始良国際交流協会

始良市

◆始良市始良国際交流協会とはどのような団体ですか？

本会は、平成3年度に設立され、現在50名余りの会員がいます。仕事を引退したメンバーが主で活動しています。この会の目的は、始良市の国際交流を積極的に推進し、相互の友好と親善を務め、世界各国の平和と繁栄に貢献することを目的としています。



留学生との花見会

◆どんな活動をしていますか？また、県民の方はどのように関わることができますか？

事業計画に基づき、5月頃に総会、外国人講師による講演会・料理教室・留学生との花見交流会を実施しています。今までに42か国の外国人講師をお招きし実施しました。留学生との交流会では第一工科大学・鹿児島国際大学・鹿児島大学などの学生を招待して交流しています。講座については、始良市の広報誌に掲載し参加者を募集しており、一般市民の方ならどなたでも参加・加入できます。

◆県民の方へメッセージをお願いします。

始良市の人口は約7万8千人で、うち現在500人余りの外国人が暮らしています。その中でアジア出身の方々が85%を占めています。当会は今までは留学生とのコミュニケーションを主にイベントを開催してきましたが、今後は企業の理解を求めながら、技能実習生など、もっと色々な外国人の方と交流する場を持ちたいと思っています。



留学生との交流会

始良市始良国際交流協会 会長 川上三芳 様
TEL/FAX (0995) 65-4592



JICA デスク鹿児島からのお知らせ！

＼帰ってきた！かごんま隊員！

鹿児島県から出発したJICA 海外協力隊員は現在累計でおよそ1,000名。今回は、2023年度9次隊の短期派遣で、キルギスに派遣されていた園中 秋葉さんに協力隊について聞いてみました！【職種：青少年活動】



【キルギス共和国】日本から西へ5000キロ、中央アジアに位置し、人口600万人、キルギス語とロシア語(公用語)が話されている。村人は羊を飼い、馬に乗って移動をする。



Q1.協力隊応募のきっかけを教えてください。

A.中学生の頃に JICA 海外協力隊(当時は青年海外協力隊)を知り、世界で活躍するカッコいい大人になりたい!と憧れたのがきっかけです。

Q2. 現地ではどのような活動をしていましたか？

A.協力隊として、2回派遣されました。1回目は約1年半、小高一貫校で現地の先生と英語の授業や日本文化の紹介をしました。2回目は、キルギス日本センターでキルギスと日本の企業を繋ぐサポートなどを約半年間行っていました。

Q3. キルギスでの印象的なエピソードを1つ教えてください。

A.キルギスは「おもてなし」の国だと思います。活動期間中は、同僚の家に呼んでもらい、お茶と家庭料理でおもてなしをうけました。家族・親戚みんなでテーブルを囲んで過ごした時間はとても有意義でした。

Q4.協力隊に参加して、身についたことを教えてください。

A.自分や周りの人のアイデアを、順序立てて形にしていける力が身についたと思います。

Q5.最後に、これから応募を考えている方に一言お願いします

A.日本では見ることのできない世界、何にも変えられない刺激的な2年間が待っています。自分の得意なことや経験を、それを必要とする国で活かすチャンスの一つとして JICA 海外協力隊という選択肢を考えてみてください！

【おわりに】

中学生の頃の“憧れ”を実現した園中さん。協力隊としてキルギスで暮らす中で、さらに視野が広がり、他の近隣諸国にも興味が湧いているとのことでした。

「人生なんて、きっかけひとつ」

あなたも JICA 海外協力隊で、世界に飛び出してみませんか？



個別相談受付

JICA デスク鹿児島 担当:仮屋 TEL:099-221-6624 (公財)鹿児島県国際交流協会内



がいこくじんそうごうそうだんまどぐち 外国人総合相談窓口

鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

対応言語：日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/シンハラ語/ヒンディー語/ベンガル語/ウクライナ語

鹿児島県国際交流協会内
TEL: 070-7662-4541
E-mail: kiasoudan@gmail.com



Facebook



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: kia@kiaweb.or.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。